

「まだ寒さが気になるから、できるだけ軽装でサクッと楽しみたい…」  
 そんなライト派にイチ押しなのが、  
 メバルロッド1本で気ままに多魚種と遊ぶパターン。  
 たとえば、日本海ではこんな  
 風光明媚なフィールドで…」



好期の春  
 竿1本でココまで遊ぶ!!

# ヤリイカ・メバル・ガシラ・アジ…♪ 春の波止でお手軽&欲張りに遊ぶなら メバルロッドがいい感じ!!

丹後半島・伊根周辺(京都府)

アドバイザー／藤本裕之&弓削和夫



平田の護岸



京都府宮津市(綾部宮津道・与謝天橋立ICを  
 左折してR178を伊根方面へ。宮津市街の  
 散策も楽しむ場合は、宮津天橋立ICを  
 右折してR178を市街地方面へ

有料駐車場(1日500円)が完備された  
 広々とした釣り場です。弓削さんの  
 背後に見える日本家屋風の建物はトイ  
 レで、その隣には自販機や救命浮き輪  
 も設置されています。  
 ファミリーでの釣りなら、釣り場からす  
 ぐのところに道の駅・舟屋の里  
 伊根に立ち寄って、食事や土産物捜し  
 を楽しむのもいいです。



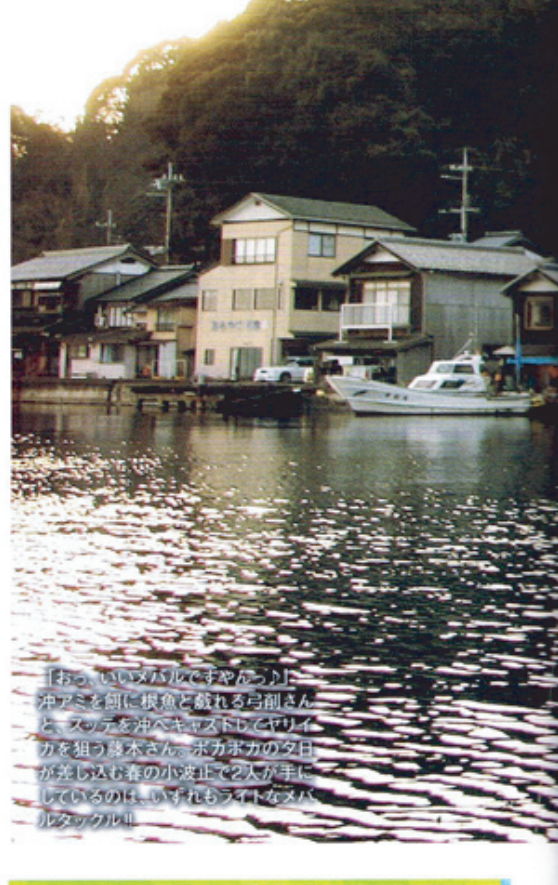
網干し場

こちらも足場がよくて気軽に楽しめるポイントです。  
 ただし、夜は入り口のゲートが閉まるため日中の釣りが  
 メンになります。また、波止に干してある漁網を  
 踏み荒らさないように注意して下さい。



近畿道・摂津北インター近くにあるフィッシングエイト2

(☎072-636-0008)で商品結構マネージャーを務める  
 藤本さんは店頭に立つことは少ないようです。とはいえ、  
 竿の選び方やヤリイカの狙い方などはお店のスタッフから  
 もアドバイスしてもらえるので安心を。この他、大阪  
 市平野区長吉川辺のフィッシングエイト(☎06-6799-  
 0080)をはじめ、京阪神各所にグループ店があります。



「お魚、いっしょに釣って帰るから」  
 池田を前に、伊根と釣れる弓削さん  
 と、スツテを沖へキャストしてヤリイ  
 カを狙う藤本さん。赤カサカサの夕日  
 が差し込む春の波止で2人が手に  
 しているのは、いっしょに釣ったメバ  
 ルロッドだ。

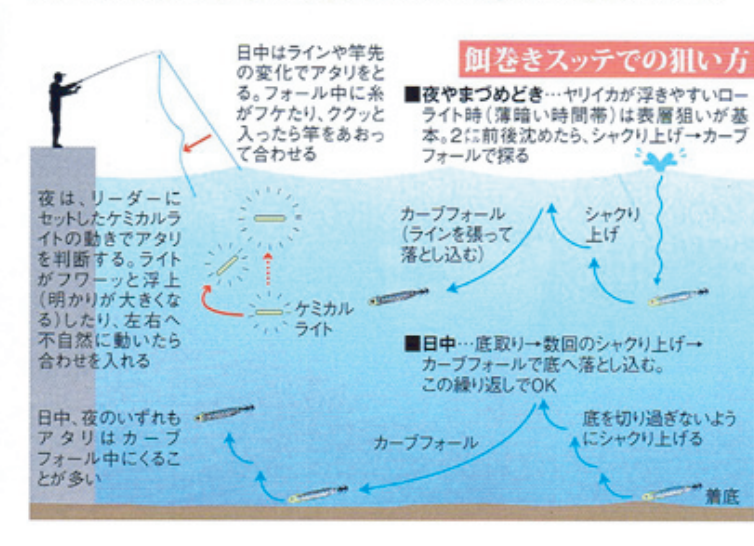


周辺の道は狭く交通量も多し、お年寄  
 りや子どもも多いのでくれぐれも安全運  
 転。また、外灯が少ないため、暗い時間帯  
 は特に注意してほしい。



①キャスト→底取り ②シャクリ上げ ③カーブフォール

日中は、沖へキャスト→底取り→リールを巻ながら3~4回のシャクリ上げ→カーブフォール  
 (ラインを張ってスツテを落とし込む)で底を主に探りましょう。曇天や降雨時など、ヤリイ  
 カの活性が上がりにくいときは宙層まで広く探るもOKです。この時期の日本海方面では  
 伊根に限らず、舞鶴、敦賀〜越前方面などでもヤリイカの回遊が期待できるとのことです。



日中は、底取り→数回のシャクリ上げ→カーブフォールで底へ落とし込む。この繰り返しでOK

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる

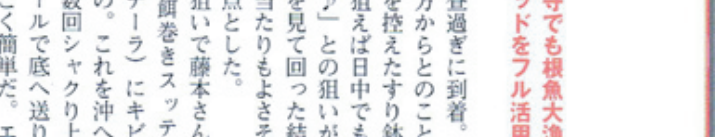
夜は、リーダーに  
 セットしたケミカル  
 ライトの動きでアタリ  
 を判断する。ライト  
 がフワッと浮上  
 (明かりが大きくなる  
 )したり、左右へ  
 不自然に動いたら  
 合わせを入れる



引き味、食味ともに文句なし!  
 釣りたての美しさもぜひ味わいたい!!

薄肌からわめて短いことから「手なしイカ」とも呼  
 ばれるヤリイカ。岸から狙われる平均サイズは胴長  
 30~40cmです。釣りたてのイカは遠くまで持ち  
 ばればれする美しさです。スツテを沖へキャストして  
 狙うパターンがお手軽ですが、夜通しアタリとア  
 タリを待ちたいなら市販のウキ釣り仕掛けを狙うの  
 もいいでしょう。  
 もちろん、食味も魅力。藤本さんのイチ押しは「短  
 冊にした身をご飯に盛って、ショウガ醤油をかけた  
 丼」とのことです。

夜はケミカルライトが必須!!



スツテのサイズに合  
 わせてキビナゴの尾をカ  
 ットし、付属のハリガ  
 ねで巻きつければ準備  
 完了。ラインでアタリ  
 をとり、ラインでアタ  
 リに夜はリーダー  
 (ハリス)にケミカル  
 ライトをセットします。

現地には昼過ぎに到着。ヤリイカ  
 の本番は夕方からとのことだったが  
 「沖に深場を控えたすり鉢状の伊根  
 湾なら底を狙えば日中もチャンス  
 があるかも」と、の狙いがあったた  
 った。湾岸を見て回った結果、水深  
 があって潮当たりもよさそうな平田  
 の護岸を拠点とした。

ヤリイカ狙いで藤本さんがおす  
 めるのは胴巻きスツテ(ヤマシ  
 タ・胴巻きテラ)にキビナゴを巻  
 きつけたもの。これを沖へ投げた  
 底を取り、数回シャクリ上げた  
 からカーブフォールで底へ送り込  
 だけと釣り方はごく簡単だ。エンジ  
 ングの基本ながらシンプルでア  
 ンプレのチカラから慣れないイン  
 プルでもすぐに親し  
 めるだろう。もちろん2.5号の  
 小巻も楽しめるが、乗りのよさは  
 スツテに軍配が上がるとのこと。

藤本さんとは対照的に、弓削さん  
 は波止の先端に腰を落し、何やら  
 ボンヤリと海面を眺めている。そ  
 の竿下で数匹の沖アツミが、

「ワームのジグヘッドリグで際を  
 探り歩いても反応が薄かったん  
 です。それでチャミング(撒き餌)と  
 それでチャミング(撒き餌)と  
 というところから、撒き餌が  
 ありますが、それだと餌取りや小  
 型魚ばかりが寄ってきちゃいま  
 す。こうして一定の間隔で1.2  
 グレやウマ  
 ズラなどが敷き石の隙間からス  
 トラなどが出てきて食べます。潮  
 通しのいい釣り場では沖から青  
 物が寄ってくる。

「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

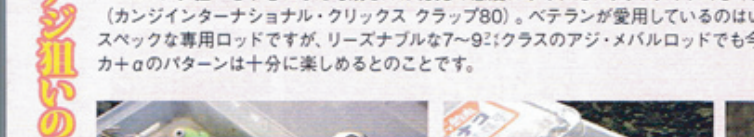
「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

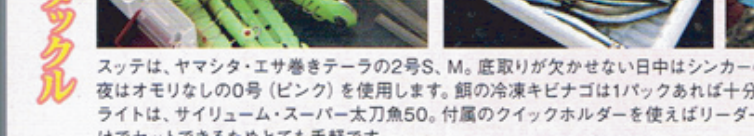
「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

## ヤリイカ・根魚・アジ狙いの欲張りタックル

ヤリイカ狙いをメインにした藤本さんは、少しでも飛距離を稼ぐために9:2クラスのメバルロッド  
 (オリムピック・ヌーボフィッシュGONFS-902UL-SS)をチョイス(左)。  
 メバル・アジ狙いを中心に弓削さんの感度に合わせたソッドタイプの8:2クラスのメバルロッドを使用  
 (カンジンターナショナル・クリックス クラップ80)。ベテランが愛用しているのはいずれもハイ  
 スペックな専用ロッドですが、リーズナブルな7~9:2クラスのアジ・メバルロッドでも今回のヤリイ  
 カ+αのパターンは十分に楽しめるとのこと。



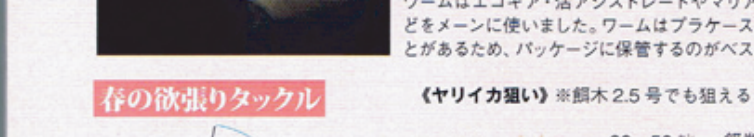
スツテは、ヤマシタ・エサ巻きテラの2号S、M。底取りが欠かせない日中はシンカーのついたタイプ、  
 夜はオモリなしの0号(ピンク)を使用します。顔の冷凍キビナゴは1パックあれば十分です。ケミカル  
 ライトは、サイリウム(スーパー太刀魚50)。付属のクイックホルダーを使えばリーダーにはめ込む  
 だけでセットできるためとても手軽です。



ワームはエコギア・活アジストレートやマリア・ママワーム  
 などを中心に使いました。ワームはブラケースを成形させるこ  
 とがあるため、パッケージに保管するのがベストです。

## 春の欲張りタックル

(ヤリイカ狙い) ※餌木2.5号でも狙える

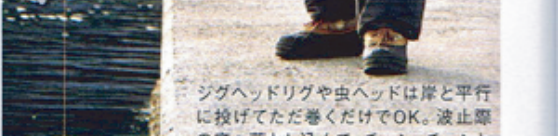


## ライトルアー&虫ヘッド

ジグヘッドリグや虫ヘッドは岸と平行  
 に投げただただ巻くだけでOK。波止際  
 の底へ落とし込んで、チョン、チョンと  
 軽くシャクリながら楽しむ。



一般的な波止回りなら、ジグヘッドリグ(1号)のジグヘッド+ワ  
 ームで根魚やアジとたっぷり遊ぶ。それで反応がわるければ、  
 ワームのかわりにアオイソメやイソゴカイをセットした虫ヘッド釣  
 法にチェンジ。こちらならより高確率で本命の顔が見られます。



「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を

「あつ、アジが釣れてる。そろ  
 そろアジングタイムですね」  
 そつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を  
 まつめどきはサビキの釣況を